

## 第71回 理事会 議事録

1. 日 時 令和3年9月28日(火) 13時00分～14時55分

2. 場 所 WEB会議(ZOOMシステム)

事務局：日本私立薬科大学協会事務局

3. 出席者

会 長	井上 圭三		
副 会 長	後藤 直正	楠	文代
常務理事	中村 明弘	浜岡	純治
	加留部 善晴		
理 事	亀井 美和子	元木	和幸
	田中 芳夫	堅田	利明
	佐川 賢一	越前	宏俊
	岩城 正宏	津田	裕子
	宮田 興子	篠塚	和正
監 事	富田 基郎	市川	厚
参 与	乾 賢一	本間	浩

出席理事数	16名
WEB出席	16名

#### 4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、本日の出席理事が16名であり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、篠塚理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

##### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録(第70回理事会：令和3年7月6日開催)について、全会一致でこれを承認した。

##### (2) 令和4年度実施の役員改選に伴う選考手続きについて

小池事務局長から、次期役員改選に向けて内規の一部改正について以下の説明があった、

- ① 資料3—①第2条関係について、東西ブロック内の大学のうち、大学間統合による大学名の変更、新規加入大学(学部)を追加する。

② 資料 3-②第 4 条関係について、前回役員選挙（令和 2 年度実施）において「理事候補者となるのはすべての議決権を有する者」とする改正を行い、選挙を実施した結果、同一法人から 2 名（法人側、大学側）の理事が選出される結果となった。しかしながら理事会の構成は、多くの大学の声を反映する観点から、見直しを行う必要があると考え、「各法人は理事候補者として議決権を有する者から 1 名を届け出る」旨の改正を行い、同一法人から 2 名の理事とならないよう改める。種々意見交換を行い、次回理事会で再度協議し、11 月 30 日開催の第 2 回通常総会へ諮ることとした。

### （3）広報誌「6 年制薬ガイド 2023」の刊行について

井上会長（広報誌編集委員会委員長）から、資料 4 に基づき、今回発行する広報誌の具体的な掲載内容（生命にかかわる薬剤師として、「ダイヤモンド・プリンセス号における薬剤師の取り組み（国立病院機構大阪医療センター）」、「薬・薬連携における薬剤師の取り組み（国立がんセンター東病院）」を取り上げること、コアカリキュラムに基づく大学での学び、掲載する研究室の紹介等）及び令和 4 年 3 月刊行を目途に編集作業を進めていく等の報告があった。

### （4）薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、資料 5 に基づき、以下について報告があった。

- ①令和 2 年度実務実習実施結果（病院・薬局）について
- ②令和 3 年度在籍者数（6 年制・4 年制）について
- ③令和 5 年度実務実習実施日程（原則）について
- ④第 42 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について

### （5）薬学共用試験について

中村常務理事（薬学共用試験センター試験統括委員会委員長）から資料 6 に基づき、2021 年度薬学共用試験 CBT 体験受験結果について報告があった。

### （6）薬剤師国家試験問題検討委員会について

井上会長から、本年度開催の厚生労働省「医道審議会薬剤師国家試験事後評価部会」については、昨年と同様に新型コロナ感染防止の観点からメールによる持回り開催（書面審議）で実施することとなり、本協会から提出した「第 106 回薬剤師国家試験問題の検討結果」については、

参考資料として委員全員に送付し、9月上旬に事後評価部会を終了した旨の報告があり、これを了承した。

#### (7) 令和4年度主要会議開催予定について

小池事務局長から、資料7に基づき令和4年度理事会・総会等の開催予定について説明があり、これを了承した。

関連して、本年11月に開催する理事会・総会等の取り扱いについて下記のとおり提案があり、了承された。

##### ◎ 11月9日(火)

- ・教育賞受賞者選考委員会 11:00～ ZOOM会議により実施する。
- ・第72回理事会 13:00～ ZOOM会議により実施する。

##### ◎ 11月30日(火)

- ・第73回理事会 11:00～ 対面及びZOOM会議により実施する。
- ・第2回通常総会 13:00～ ZOOM会議を原則とし、ZOOM・ホスト会場に参加も可能とする。  
各大学から1名のZOOM会議参加
- ・教育賞授与式 16:45～ ZOOM・ホスト会場で実施
- ・情報交換会 実施しない

#### (8) その他

##### ①文部科学省委託費「6年制薬学教育制度調査検討委員会」の検討状況について

井上会長から、資料8に基づき、現在までの検討状況について以下の報告があった。

- ・文部科学省を中心に、医学・歯学・薬学のコアカリキュラムの基本方針の一部共通化を図るための議論をしており、特に求められる基本的な資質・能力について、それぞれの項目を薬学として、どの程度合わせられるかの検討を行っている。
- ・今回のコアカリ改定に向けて、医学・歯学・薬学共通の「キャッチフレーズ」を検討している。

##### ②薬学系人材養成の在り方に関する検討会(第1回)について

井上会長から、資料9に基づき令和3年8月27日(金)に開催された検討会について、以下の報告があった。

- ・座長 : 永井 良三 自治医科大学長
- ・副座長 : 井上 圭三 本協会会長

- ・今回は「薬学教育の質保証に向けた施策」、「薬学教育モデル・コアカリキュラムの策定」を検討する。
- ・質保証の課題については「薬学部教育の質保証専門小委員会」を設置し、薬学部教育の質の確保に向け、薬科大学・薬学部に対して書面調査、ヒアリング調査及び実地調査の方法を選択的に活用することによりフォローアップ調査を実施するとともに当該結果を基にした課題等の整理を行い、質保証に関する意見を取りまとめる。

また、コアカリについては「コアカリ検討専門小委員会（仮称）」を設置し、コアカリキュラムの詳細について検討を行う。

### ③令和3年度文部科学省薬学教育指導者のためのワークショップについて

中村常務理事から、資料10に基づき令和3年9月3日（金）にオンラインで開催された文部科学省主催の薬学教育指導者のためのワークショップ（テーマ：『薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）』の成果と課題）について報告があった。

また、文部科学省において、10月末までには報告書を取りまとめる予定である旨の説明があった。

なお、今回はオンライン開催されたことに伴い、WEBシステムをサポートする「ICT」チームの存在が高く評価され、今後、薬学関係でも「ICT」チームについて検討してはどうかとの発言があり、中村常務理事に検討を依頼することとなった。

### ④「第6回日本薬学教育学会大会」について

乾 参与（日本薬学教育学会理事長）から、令和3年8月21日（土）、22日（日）の両日、名城大学薬学部においてWEB開催された「第6回日本薬学教育学会大会—今に挑戦する薬学教育～ニューノーマル時代の学び—」について報告があった。

## 5. その他

- ・小池事務局長から、学校法人 ガバナンス改革会議（文部科学省）の動向と論点について、配布資料により説明があった。
- ・令和4年度文部科学省及び厚生労働省の概算要求概要の配布資料があった。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、  
14時55分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事  
(指名された議事録署名人)、監事がこれに署名捺印する。

令和3年10月15日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長 井上圭三  
(押印済)

出席理事 篠塚和正  
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富田基郎  
(押印済)

出席監事 市川厚  
(押印済)